United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization
UNESCO Associated Schools

平成２８年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成２８年４月～平成２９年３月

１．学校概要

学校名　勝山市立荒土小学校

種　別　□保育園・幼稚園　■小学校　□小中一貫教育
□中学校　□中高一貫教育　□高等学校
□教員養成　□技術/職業教育
□特別支援学校　□その他（　　）

所在地　〒911－0045
福井県勝山市荒土町伊波２－２８

E-mail　aradosyo@edu.city.katsuyama.fukui.jp

Website

児童生徒数　男子　４７　名　女子　４１　名　合計　８８　名
児童・生徒の年齢　６歳～１２歳

２．実施活動（複数選択可）

□　地球規模の問題に対する国連システムの理解
□　国際理解
□　世界遺産
□　平和・人権
■　環境
□　気候変動
□　生物多様性
□　エネルギー
□　防災
□　食育
■　伝統文化
□　そのほか（　　）

３．活動内容

（１）１年間の主な活動内容について記載願います。

① １，２年生

本校は里山にあたる地域に立地している。しかし、農作物を育てたり、昆虫などの生き物を飼育したりする経験を持つ児童は少ない。そのため、１・２年の生活科では、生き物に触れ合うことを重視して体験活動を行った。

また、春～秋にかけて、学校菜園で１年生はサツマイモ、２年生はトマトやなすなど栽培した。収穫した野菜は給食の食材として提供したり、生活科の時間に調理したりして、生き物の命をいただいていることの大切さを感じさせた。

また、作物を栽培している畑やグラウンドの周りで見られる昆虫の観察を行い、身近にいる生き物への関心を高めた。

② ３・４年生

３・４年生は、総合的な学習の時間に，勝山市の社会福祉協議会の方を招いて手話学習を行った。学習した成果を地域の文化祭やお年寄りとのふれあいサロンなどで発表を行った。また、授業時間外に、地域の行事とタイアップし、親子で学校周辺を流れる皿川の清掃活動を行った。また、清掃活動後は、皿川に生息する水中生物の観察会を行った。

③ ３年生

手話を必要とする方と交流する福祉体験を行った。３・４年生では「手話コーラスの形で学習を行ったが、実際に手話で交流し、自分の思いを丁寧に伝えたり、相手のことを一生懸命に理解したりすることの大切さを学ぶことができた。

④ ４年生

今年度も荒土町ふるさと協議会の方々が炭焼き体験（炭焼き・炭出し）を行った。荒土町では、里山の環境を生かすため、約１０年前に釜を復元し、炭づくりや、落葉樹の苗木の植樹を行っている。５月の苗木のホームステイ説明会では、ドングリやブナの木などの苗木の説明を聞いた。その後、約１ヶ月間、観察や栽培を行った。栽培した苗木は６月に行った炭焼き体験の際に山に植樹した。炭焼き体験では、まず、原木を斧を使って割ったり、原木を窯の中に入れたりした。数週間後、炭を窯から取り出し、形を整え箱詰めする作業をした。

⑤ ５年生

毎年、地域の方の協力を得て、稲作体験（田植え・稲刈り）を行っている。家に田んぼがあると

いう児童も何人もいるが、実際に稲作に関わっている児童はほとんどいない。
　また、稲作体験を行っている水田を管理している方の協力を得て、水田から羽化する赤とんぼの数を調査した。初夏、水田から羽化した赤とんぼにマーキングを行い、秋、標高の高い地域から戻ってきた赤とんぼの観察を行った。本校では、２年前までアキアカネとノシメトンボが多く発生していたが、今年度と昨年度はノシメトンボの数が急激に減少している。

⑥ ６年生

　学校の近くを流れる温川のバイカモの保全活動として、清掃活動を行った。また、温川に生息する水生生物を調べた。また、芝桜の植樹や地域の花いっぱい運動にも参加した。環境のみならず、自分たちの住む荒土地区が今後、より活気あるものにするために、荒土町文化祭の模擬店の案を公民館に提案したり、ポスターの原案を作ったりするなど、自分たちで発信していく活動を進めた。

（２）活動時間について（下記から選択して下さい。）

■　通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
■　時間外活動の時間を使用
□　ユネスコクラブの活動として実施
□　その他（　　）